

4月21日の大倉山講演会

近代の漢学と社会貢献活動

— 渋沢栄一と三島中洲の交流から —

日本資本主義の父と称される渋沢栄一（1840～1931）が遺した長くかつ幅広い足跡は、金融・経済等の実業のみならず、社会福祉・労使協調・民間外交・儒教普及などの社会公共事業にも広がっています。尊攘運動に挺身しながらも一橋慶喜^{ひとつばしよしのぶ}に仕えて渡欧することになった渋沢は、一旦は明治政府に出仕しますが、間もなく下野して実業で成功を収めます。そして古稀^{こき}を機に一線を退き、論語と算盤の両立を目指す「道德経済合一説」を唱道しています。

本講演では、渋沢のこの主張に影響を与えた漢学者の三島中洲^{みしまちゅうしゅう}の「義利合一論」や、帰一^{きいつ}協会・斯文会^{しぶんかい}などの儒教普及に関する事績を中心に上げて、渋沢栄一が行なった社会貢献活動の特色を明らかにします。余裕があれば、東京養育院^{あだちけんちゅう}の安達憲忠^{あだちけんちゅう}、日中交流事業の白岩龍平^{いわりゅうへい}などにも言及します。

◇日時：平成30年4月21日（土）午後2時～3時30分（開場は午後1時40分）

◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内（東急東横線大倉山駅下車徒歩7分）

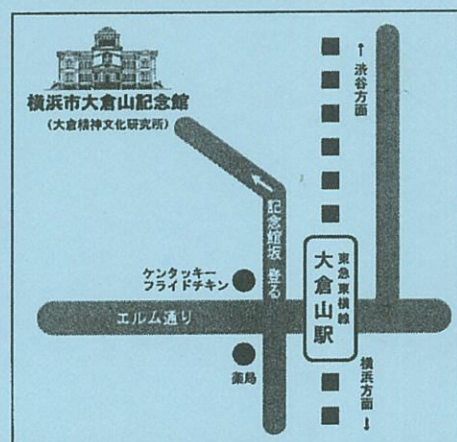
◇講師：町^{まち} 泉寿郎^{せんじゅうろう}（二松学舎大学）

◇定員：80名（入場無料、予約なし当日先着順）

◇問合せ：（公財）大倉精神文化研究所 電話 045-834-6637

Eメール okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp

ホームページ <http://www.okuraken.or.jp/>



主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

次回 5月19日（土）予告

「森村市左右衛門—陶磁器事業と社会貢献—」講師：四宮正親